

朝鮮史研究会 第54回大会

日時 2017年10月21日(土)・22日(日)

会場 同志社大学 (今出川キャンパス) 良心館

参加費 一般1500円、大学院生以下1000円

【第1日】10月21日(土)13:30～(受付13:00～) 於・良心館3階 RY305

講演

17世紀日朝武器密貿易とその清朝への波及 金文京氏
20世紀朝鮮・韓国社会の工業化 堀和生氏

総会 16:00～(会員のみ) / 懇親会 18:00～(別途参加費必要)

【第2日】10月22日(日)9:30～(受付9:00～)

【午前】パネル

9:30～12:00 於・良心館4階(RY406～408)

①「発掘」された文字資料からみた

朝鮮古代史研究

朝鮮古代史関連の唐代墓誌資料の価値とその性格

植田喜兵成智氏

咸安・城山山城木簡の研究と発掘成果

橋本繁氏

押捺方法からみた文字瓦の変遷とその歴史的意義

吉井秀夫氏

②分断体制下の韓国美術における諸問題

植民地期から分断体制下までの韓国美術のながれ

喜多恵美子氏

1950-60年代、韓国現代美術の転換とアメリカ

—金煥基(1913-1974)の渡米前後の活動から 松岡とも子氏

モノクローム絵画と「韓国性」の創出

日比野民蓉氏

軍事政権下、80年代韓国「民衆美術」に現れた

分断の矛盾と克服—〈白頭(白頭)の山裾に昇る統一の新たな日よ〉

(コルゲ・クリム/李相浩・全情浩共同制作)を例に 古川美佳氏

③日韓会談研究の現状と課題

—日韓新資料の分析から問い直す

戦後日米関係の展開の中の日韓関係

—経済協力とガリオア債務問題を中心に 浅野豊美氏

在朝日本人財産研究から再考する請求権問題

金恩貞氏

1965年「日韓基本条約」後の歴史問題と外交

長澤裕子氏

討論 吉澤文寿氏、金鉉洙氏

【午後】全体会

13:00～18:00 於・良心館3階 RY305

大会テーマ

地域からみた朝鮮植民地支配

報告

密陽郡の墓地規則附則第四項墓籍届にみられる埋葬地の所有・利用関係の構造

李相旭氏

1929年光州学生運動と中等教育

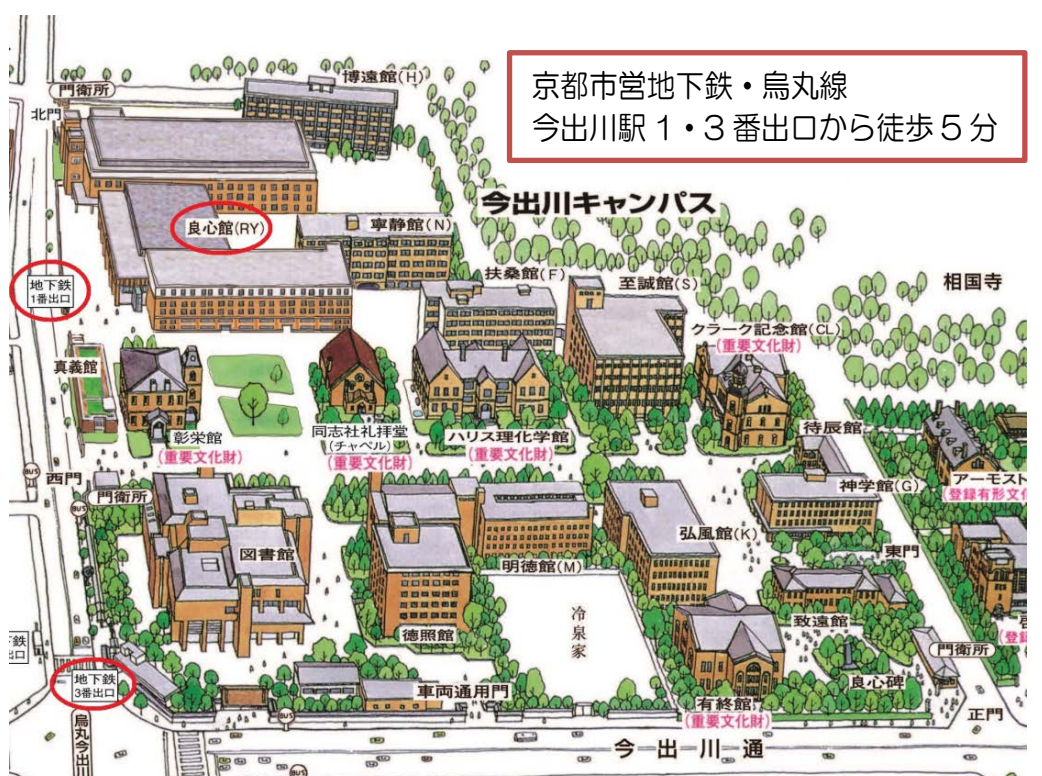
崔誠姫氏

地域社会統合の装置としての植民地公園

—南山の公園化を事例に

橋本妹里氏

総合討論



朝鮮史研究会 <http://chosenshi.gr.jp/>

(関東部会) 〒186-8601 東京都国立市中2-1 一橋大学大学院社会学研究科 加藤圭木研究室気付

(関西部会) 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 同志社大学グローバル・スタディーズ研究科 太田修研究室気付